

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

東紀州地域は、多様で豊かな自然や歴史風土の中で、豊かでゆとりある暮らしが実現できる地域です。地域の人びとだけでなく、都市部の人びとにとっても魅力的な地域をめざして、地域のさまざまな主体が連携し、地域の自然や歴史と共に生きる暮らしを大切にしながら、地域経済が活性化され、持続可能な地域社会が維持されています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
東紀州地域における観光消費額の伸び率		107		109		112 以上
	100 (30年)					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	観光旅行者が東紀州地域において支出した観光消費額の平成30（2018）年を100とした場合の伸び率					
3年度目標値の考え方	「三重県観光振興基本計画（令和2年度～5年度）」をふまえ、東紀州地域における観光消費額も段階的に増加させ、令和5年におおむね同様の伸び率を確保することをめざして設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
熊野古道の来訪者数		380 千人		400 千人		430 千人
	376 千人 (元年)					
東紀州地域の事業者等が商品やサービスの改良、業務拡大に取り組んだ件数		110 件		126 件		160 件
	97 件					

## 現状と課題

- ①東紀州地域では、過疎・高齢化の進行や若年層の流出などに伴い、県内でも特に人口減少が懸念されており、持続可能な地域社会の形成に向けた方策が求められています。
- ②伝統文化の担い手の高齢化が進み、その継承が危ぶまれつつあります。地域の大切な財産である伝統文化を次世代に継承し、地域の活力向上につなげるため、新たな担い手を発掘し、創出しようとする地域の機運醸成が必要となっています。
- ③東紀州地域ではリピーター率が県全体よりも高い一方で、子ども連れの家族旅行の率が県全体よりも低いことから、潜在観光客の来訪意欲を喚起していく必要があります。新型コロナの収束後を見据え、ターゲットに応じて新たな魅力を発掘・発信すること並びに初めて来訪される方や体力に自信がない方の不安を和らげるための情報を提供することが重要です。
- ④新型コロナウイルス感染症の影響で、外国人旅行者の来訪が当面の間見込めないことや、近場で観光を楽しむマイクロツーリズムへの関心の高まりなど、観光をめぐる様相が大きく変容してきており、それらに対応する取組を進める必要があります。
- ⑤東紀州地域は、地理的条件もあって地域経済が低迷しており、また、観光関連産業を含めた産業分野には小規模な事業者も多いことから、さまざまな主体が連携して、商機拡大に向けた取組を進めるなど、地域経済の活性化を図る必要があります。

## 令和3年度の取組方向

- ①持続可能な地域社会づくりに向けた基盤を整えるため、地域のコーディネーターとしての役割を担う東紀州地域振興公社と連携しながら、東紀州地域の観光振興、産業振興、まちづくりの取組を促進します。
- ②地域の伝統文化の担い手づくりに向けて、次世代を担う子どもや若者に、東紀州地域の生活の中に息づく価値や魅力を伝え、地域への誇りと愛着心を育む取組を進めます。
- ③来訪者にさまざまな楽しみや学びを提供しつつ古道歩きが具体的に思い描けるコンテンツを作成するなど、来訪者の不安軽減と一層の満足度向上に向けた取組を進めます。
- ④東京2020オリンピック・パラリンピックや三重とこわか国体・三重とこわか大会などのビッグイベントを生かし、国内外に向けて、熊野古道をはじめとする東紀州地域ならではの魅力の発信に取り組めます。また、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた来訪者の受入環境整備や、県内や近隣県からの集客に向けた取組を進めます。
- ⑤地域製品のブランド力強化や販路拡大など地域経済の活性化につながる取組を支援するとともに、観光関連産業が地域をけん引する産業となることをめざし、観光の産業化に向けて取り組めます。

## 主な事業

- ①東紀州地域振興推進事業【基本事業名：25201 持続可能な地域に向けた基盤づくり】  
予算額：(R2) 10,255千円 → (R3) 10,255千円  
事業概要：持続可能な地域社会づくりに向けた基盤を整えるため、地域のコーディネーターの役割を担う（一社）東紀州地域振興公社と連携し、地域が一体となり、観光振興を中心に、産業振興、まちづくりを推進する取組を進めます。

- ②地域の誇り次世代継承プロジェクト事業【基本事業名：25201 持続可能な地域に向けた基盤づくり】  
予算額：(R2) 2,988千円 → (R3) 2,790千円  
事業概要：熊野古道や周辺地域の豊かな自然、歴史、文化等の価値を次世代に継承するため、東紀州地域の子どもや若者が、熊野古道やその周辺の自然・歴史・文化等を体験し、地域の「本物」に触れることにより、地域への関心や理解を深める取組を実施します。
- ③Easy Access to 東紀州！プロジェクト推進事業  
【基本事業名：25202 地域資源を生かした観光地域づくり】  
予算額：(R2) 9,755千円 → (R3) 6,288千円  
事業概要：地域の魅力の発信や旅行者の受入環境整備について、(一社)東紀州地域振興公社等と連携して取り組みます。また、他県も含めた広域連携による誘客促進に取り組み、東紀州地域における旅行者の周遊性・滞在性を高めます。
- ④熊野古道活用促進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした観光地域づくり】  
予算額：(R2) 10,787千円 → (R3) 5,226千円  
事業概要：世界遺産登録15周年の成果を20周年につなげるため、熊野古道の価値や魅力を国内外に発信することなどにより誘客促進を図るとともに、スペイン・バスク自治州との交流を継続します。また、伊勢から熊野まで熊野古道を結ぶ環境整備等に取り組むことにより、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。
- ⑤東紀州地域集客交流推進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした観光地域づくり】  
予算額：(R2) 70,153千円 → (R3) 72,091千円  
事業概要：熊野古道センターを通じて、熊野古道をはじめとした東紀州地域の歴史・文化、自然等を地域内外に発信するとともに、集客交流を促進します。
- ⑥(新)さあ出かけよう、熊野古道再発見旅事業  
【基本事業名：25202 地域資源を生かした観光地域づくり】  
予算額：(R2) — 千円 → (R3) 21,800千円  
事業概要：子ども連れ家族などの来訪意欲を喚起するため、古道歩きが具体的に思い描ける映像や、来訪時にさまざまな楽しみや学びを提供できる動画等を作成します。また、安心して来訪できる機会を創出するため、体験ツアーを実施します。  
さらに、リピーターなどの再訪を訴求するため、古道周辺のこれまであまり紹介されていない隠れた魅力を映像により紹介します。
- ⑦選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業  
【基本事業名：25203 地域資源を生かした産業振興】  
予算額：(R2) 11,259千円 → (R3) 11,259千円  
事業概要：東紀州地域の市町や関係団体が連携して行う地域産品の高付加価値化や販路拡大、観光サービスのブラッシュアップ等の取組を支援し、地域産業・雇用の活性化を図ることにより、東紀州地域の持続的な発展につなげます。